

循環器内科

心臓カテーテル検査開始

平成25年12月16日、筑西・下妻地域緊急医療体制整備事業として、循環器内科に待望の心臓カテーテル検査がスタートしました。救急医療の充実や循環器内科の検査、脳神経外科検査の充実のために導入しました。結城市近隣で実施している病院は大学病院や救急病院以外にはなく、整備が待ち望まれていました。

心臓カテーテル検査は、血管内に細い管（カテーテル）を挿入し、血管の狭窄や梗塞部位を診断する検査です。造影検査をはじめ、血管の3次元映像も映し出すことのできる最新鋭の機械です。放射線を利用しますが、被ばくを低減する最新の機構を備えています。

また、この装置は、カテーテルにバルーン（風船）やステント（小さな網目状の筒）を入れて、血管を広げる治療を行うこともできます。

